

うえるかむ

WELCOME YAMAGATA! COMMUNICATION FREE PAPER.



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- ・一面 広域交流会「なみえ絆いわき会」／暮らしの相談会
- ・From 山形 映画で学ぶ女性目線の防災
- ・From 山形 絵手紙に挑戦してみませんか Part II!
- ・みんなの声 ・しあわせココロの作り方 (73)
- ・Special Interview 西川町 掛田 和仁さん
- ・おすすめ情報 ・ひと休みレシピ「ゆべし」
- ・インタビュー〜ともにあゆむ〜 ・編集部より

第101号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
TEL 023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数: 2600部

広域交流会「なみえ絆いわき会」

シナム」の連携事業として行われました。当日はあいにくの雨模様のお天気でしたが、各地域から出発するマイクロバスに乗り、山形県からは、11名が参加し、総勢118名が集まりました。交流懇談会では、来賓として参加された浪江町役場の方から、復興の状況についての説明を聞きました。各地域の代表者あ



9月9日(日)山形県と宮城県に避難された浪江町民の皆さんと、いわき市内で避難生活を送る浪江町民の皆さんとの広域交流会が、宮城県の作並温泉「La楽リゾートホテルグリーングリーン」で開催されました。今回の交流会は、いわき市に避難された皆さんで結成された「なみえ絆いわき会」と「一般社団法人東北圏地域づくりコンソー



宮城山形なみえ交流会



【お問合せ】一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシウム
宮城県仙台市若林区土樋 254 ニューメゾン土樋 201
TEL: 022-353-7550
E-mail: info@tohokuconso.org

さつでは、山形県代表の「浪江コスモス会」代表岡田有一さんが、「山形弁が難しい時は、笑顔で返事をする時もあります。」とユーモアたっぷりに山形での生活の様子を話し、会場は笑いに包まれ和やかな雰囲気になりました。その後は、昼食をとりながらの懇談会です。久しぶりの再会に旧交を温める姿が多く見られました。昼食後は、バスで宮城県の観光名所「定義如来」に移動しました。「定義如来」は、平安時代の貴族、平清盛の家臣・平貞能ゆかりの寺院で、縁結びにご利益があると言われています。一行は、雨にも負けず傘を片手に、定義名物の三角あぶら揚げ店にまっしぐら。帰りは、お土産とお土産話でいっぱいのおバスに乗り山形への帰路につきました。

福島県民間賃貸住宅等家賃補助事業

終了時の手続きと暮らしの相談会

- 日時: 2018年11月18日(日)10:00~12:00 (受付9:30~)
- 場所: 山形市避難者交流支援センター
山形市落合町1番地 山形市総合スポーツセンター3F
- 対象: 福島県から避難されている方のうち、来年3月末終了予定の「福島県民間賃貸住宅等家賃補助事業」の対象世帯の方
- 参加費: 無料

【お申込み・お問合せ】下記の申込み先、どちらかにご連絡下さい。

「ここふく@やまがた」相談支援室 (NPO 法人山形の公益活動を応援する会・アミル内)
TEL: 023-674-0606 E-mail: soudan@amill.org

山形市避難者交流支援センター TEL: 023-625-2185 (直接来所してのお申込みも可能です)

10:00~11:00
福島県からの情報提供/質疑応答及びお知らせ
11:00~12:00 個別相談会 (予約制)
※お茶とお菓子を召し上がりながら、交流スペースでお話できます。



From 山形

映画で学ぶ女性目線の防災



けを撮り続け、当時の人々の心を描き出そうと試みた映画でした。

今回上映した『防災やりたい！彼女たち』は、「若い女性などの防災意識を高めたいという想いで制作され、また、広く役に立つ情報もたくさんあるのでぜひ多くの人に見てもらいたい。」と同会関係者は話しました。

映画の上映後は、講師に「元常磐大学人間科学部」教授の奥山眞知先生をお迎えして、ワークショップを開催しました。ワークショップでは、防災上重要であるものを再確認し、改めて防災に向き合える良い機会になりました。

10月7日(日) 山形市男女共同参画センターファアラにて、「映画で男女共同参画を考える会」主催のイベントで、ドキュメンタリー映画『防災やりたい！彼女たち』が上映されました。『防災ガール』に焦点を当てた映画で、女性目線のオシャレで使いやすい防災グッズの開発、本場に役立つ避難訓練などの活動を紹介しました。

この映画の監督である、岡崎孝氏のデビュー作の『私たちにできたこと、できなかったこと』は、東日本大震災直後の山形市内の2カ月間、張り紙や看板、のぼり旗など『人』以外の物だ



【お問合せ】
ドキュメンタリー映画
プロデューサー 岡崎 由美子
TEL : 090-6255-0921
E-mail : yumitaka0921@yahoo.co.jp

From 山形

絵手紙に挑戦してみませんかPart II!



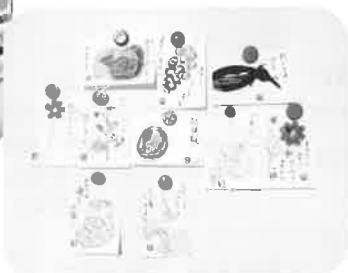
紙初挑戦の参加者は、色の染め方などを丁寧講師から指導していただき、次々と描いていくうちに見る見る上達していききました。参加者からは、「絵手紙を受け取った事はあったが、自分で送った事はなかった。」「2回目の参加だが、回を重ねるたびに楽しくなっていく。」などの感想が聞かれました。
素敵な絵手紙が完成した後は、お茶を囲んでみんなで品評会です。どれも個性があふれ、絵手紙に描いた人の思いがこもっている作品でした。

9月27日(木) 長井市社会福祉協議会主催、平成30年度第6回定期交流会「絵手紙に挑戦してみませんかPart II!」が開催されました。1月の交流会に引き続き2回目の開催となり、1回目でもご指導をいただいた、吉野健太郎先生に講師として参加していただきました。吉野先生は、元郵便局職員として勤務し、1991年から毎日欠かさず絵手紙を書き続けています。「絵手紙の書き方には決まりがなく自由である。大切なことは書いたら必ず誰かに送る事。」この鉄則を学び、送る相手を考えながら描いていきました。絵手



参加者の作品 →

← 吉野先生の作品



【お問合せ】長井市社会福祉協議会
TEL : 0238-87-1822 (直通) ・ 0238-88-3711

「みんなの声」につぶやきを送ろう

あの人に伝えたい一言や、最近思う事、今の暮らしの中のつぶやきなどを募集しています。はがき、又はメールでお送りください。みなさまからの投稿、お待ちしております！

※専用はがきは切手不要です。そのままポストに投函してください。
※投稿された内容は、誤字以外そのまま掲載させて頂いています。
※特定の方の誹謗中傷などは、掲載を見送る場合もあります。



寒河江市社協の小旅行へ参加させていただきました。年に一度、このように市をまたいで交流を持てるよう、継続して開催できるようにしたいと思います。(支援者より・30代女性)



秋は米沢の“なせばなる秋まつり”。福島は10月になると山車がたくさん集まり、タイコがにぎやかな稲荷大祭が始まります(^◇^)
(福島市→米沢市・40代女性)



郡山へ高校入学を機にひとりだけ帰郷した次女も高3となりました。そんな娘から「高校総体の東北大会の会場が落合に決まったよ！何が何でも勝ち進んで落合に行く」と、TELがありました。有言実行！落合で成長した姿を見せてくれました。山形で見ると最後の試合、感動しました。
(郡山市→山形市・40代女性)



今年の夏は猛暑だった。熱中症になった人も沢山出た。米沢では深刻な水不足になり水源であるダム貯水率が20.1%まで下がったため、各家庭でも節水になった。水のありがたさをつくづく感じた。
(二本松市→米沢市・60代女性)



山形に一時的に引っ越しをして、ちょっと物をそろえるのが大変ですが、周りの人が色々かしてくれたり、たくさん話してくれたり、人は一人では生きていけない、感謝していこうと思いました。職場では今時こんな人いるの?!ってびっくりします。あんまり気にしているとこちらが疲れてしまうので心の保ち方などを志村友理さんに聞きたいです。人にされていやな事はしない！
(天童市・40代女性)



シェアコラム

73

しあわせココロのつくりかた

心の中に生まれたわだかまりに執着し続けている人はいませんか？そういう状況に陥ると、自分がどれほど恵まれているか、愛されてきたかわからなくなってしまい、ひたすらに攻撃相手を探し、人間関係を悪化させてしまうのです。

この世の中は、価値観の違う人が集まる場。だとすると、意見の違いは生まれるし、ぶつかり合うのは当たり前。そんな風に少し力を抜いた考えを持ち、丁度よい心の距離をとって、人との付き合いを楽しんでみる。そうすると、心の中にちょっとしたゆとりが生まれます。

完璧な人など誰ひとりとして存在しないことに気付けば、自分を責めたり、他人を責めることも自ずと減っていきます。

自分に与えられた時間は、苦しんでも、楽しんでも同じだけ。大事な人生の時間を実り豊かに彩っていきましょう。

カウンセラー・スピリチュアルケアアドバイザー 志村友理
カウンセリング・ルーム メール相談 ryokusuinomori@yahoo.co.jp



Special Interview

株式会社 新関タイヤ 勤務

西川町在住

かけた かずひと
掛田 和仁 さん



Q 震災前後はどのように過ごしていましたか？

学生時代は富岡町で母親と弟と過ごし、卒業後はいわき市で車の整備士をしていました。震災時は、いわき市の沿岸部にある平下高久で仕事をしていた、仕事が終わりに、お客さんと話をしている時に地震に遭いました。津波が来ると放送があり、驚いて避難できませんでした。仕事先のおばあちゃんを背負い、無我夢中で高台に避難をしました。その時のおばあちゃんとはその後1度会うことができ、現在はいわき市の仮設住宅で元気に暮らしています。

勤務していた会社は再建のめどが立たなかった為、新聞配達をしながら、地元で流された車を引き揚げる手伝いをしていました。震災後にすっかり変わってしまったいわき市が、元の景色に戻ってほしいとの気持ちもありました。その後、知り合いが山形県にいたため、2011年の10月に寒河江市に避難しました。すぐに、ハローワークで現在の職場を紹介してもらい、面接時には、現在に至るまでの自分の状況や、今後の決意などを書いた手紙を渡しました。

寒河江市に来たばかりの頃は蝋燭の灯りで生活し、車もなく1時間歩いて通勤しました。カーテンは作業服を代用し、社長の奥さんから生活用品や食料をもらっていました。山形県の冬は厳しく、最初は雪掻きの仕方かわかりませんでした。周りの方からお世話になりました。少しずつ山形での生活にも慣れてきた頃に、妻と知り合いました。妻とは、社長の紹介で商工会の青年部の集まりの時に出会い、車好きという共通の話題もありました。2014年に結婚し、翌年に娘が生まれ、部



屋が狭かったこともあり、2016年に寒河江市から西川町に引っ越しました。西川町では、近所の方も温かく、休日の忙しい日には娘を預かってくれる友人もできました。子育てにも最適な環境で、大変感謝しています。

Q 現在はどのように過ごしていますか？

魚やエビ、熱帯魚を自宅ですくさん飼っています。魚がどんどん大きくなり、水槽を買い替えたのがきっかけで、水槽が増えていきました。今は娘も掃除や魚に餌をあげ、世話をしています。

休日には娘と遊ぶ事が一番の楽しみです。山形の温泉は料金も安く、手軽に行けるので最近娘と2人で温泉に通っています。

Q 今後はどのように過ごしたいですか？

仕事が続く限りこちらで生活をしていく予定です。くじけそうになった時もありましたが、お世話になった方々に恩返しをしなくてはならないとがんばってきました。山形県に避難して社長との出会いがなければ、自分はいわき市に戻り、妻とは出会っていません。

避難者へのメッセージ

避難時はとても大変でしたが、今は立ち直っています。希望をもって仕事をしたいは家族もでき幸せになれます。避難して一番感じたことは、人との出会いは大切だということです。今後も会社に貢献をして、家族全員が幸せになれるようにがんばっていきます。



☆掛田さんと連絡を取りたい方は下記までお問い合わせください。お繋ぎします。
【お問合せ】復興ボランティア支援センターやまがた
TEL：023-674-7311
E-mail：kizuna@yamagata1.jp



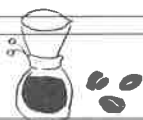
おすすめ情報

～ 福島県の 高校入試模擬試験 が自宅で受けられます (福島県の生活情報) ～

対象：県外で福島県での高校受験をお考えの方
(中学1年生～中学3年生)
料金：5,000円(税込)
申込方法：東書 Web ショップ(東京書籍) に申し込むと
新教研の模擬試験問題がご自宅に郵送され、解答・志
望校名(4校まで)等を記入し返送すると合格可能性
の判定や偏差値などの情報が送られて来ます。
試験予定：11月・12月・1月・2月(中3生対象)、
1月・3月(中1・中2生対象)
詳しくは新教研のサイトをご覧ください。

【電話等でのお問合せ】
ホームページでお申し込みできない方は、「ここふく@やま
がた」相談支援室までお問い合わせください。
TEL：023-674-0606(平日9時～17時)
FAX：023-674-0808
E-mail：soudan@amill.org

新教研のウェブサイトはこちら！ →



じっくり珈琲講座



5月のゆったり珈琲講座に続いての第二弾。
今回は「手網焙煎」にチャレンジします。
自分で焙煎した珈琲豆はひと味・ふた味違うはず。
珈琲豆の深～い話を聞きながら、自分の時間に浸りませんか？

日時：11月22日(木) 10:30～12:00
場所：福島こころの公民館 fucco(山形市東山形2-1-19)
講師：自家焙煎珈琲の店 bino

店長 菅原健児さん
焙煎士 菅原清子さん

内容：生の珈琲豆を手網焙煎します。自分好みの珈琲豆を作
りながら、その香りを楽しみます。

料金：800円
(焙煎用豆代として、自分が煎った豆はお持ち帰りします)

申込方法：参加する方の氏名・連絡先をメールまたは TEL
にて。11月8日(木) 締切

※メールでお申し込みの方へは3日以内に確認のメールを差
し上げます。万が一返信がない場合はお手数ですがお電話
をお願いします。

【お問合せ】福島こころの公民館 fucco(ふっこ)
TEL：023-674-6013 E-mail：fucco@kakehasi.jpn.org

「ふくしまで働こう in 山形 2018」

～就職は福島が熱い！～

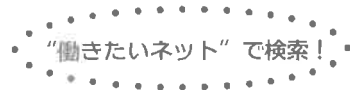
ふくしまでお仕事を！というきっかけを見つけてみませんか。
国と福島県が力を合わせて被災地の復興や福島イノベーション・
コースト構想を進めており、新たな『まちづくり』が始
動しています。そのような中で、再生可能エネルギーや航空
宇宙産業、ロボット産業などにおいて、最先端技術を持つ企
業や地元の活力ある企業が多くの人材を求めています。

日時：12月1日(土) 13:00～16:00
会場：山形テルサ3階交流室A(山形市双葉町1-2-3)
対象：福島県から避難しておられる方、福島県への移住に
関心を持たれている方、就職・転職をお考えの方など
参加費：無料
(事前予約等不要。当日会場に直接お越しください。)

主催：厚生労働省

【お問合せ】

福島広域雇用促進支援協議会(福島県福島市中町4-20)
【厚生労働省委託事業受託団体】TEL：024-524-2121



「原発事故後の子ども保養支援」の本 抽選で3名様にプレゼント!

子ども、保護者、専門家など百人以上の方々にインタビュー
を行い、原発事故後の保養支援を総合的にまとめた著書が
2018年8月に発刊されました。

(著者：疋田 香澄氏(リフレッシュサポート代表))
発刊を記念し、こちらの書籍を読者の方3名様に抽選でプレ
ゼントいたします。

【お問合せ】復興ボランティア支援センターやまがた
「保養の本プレゼント」係
〒990-2412 山形市松山3丁目14-69 FM山形ビル1階
TEL：023-674-7311 E-mail：kizuna@yamagata1.jp

●応募方法：

■ハガキでの応募

添付の“みんなの声大募集!”のハガキに

①氏名 ②〒・住所 ③電話番号

余白に「保養の本プレゼント」と書いて

お送りください。切手は不要です。

本紙「うるかむ」の読者の方でしたら、どなたでもご応募
できます。

■メールでも受け付けます

当選の発表は、賞品の発送をもってお知らせいたします。

申込締切：2018年11月26日(月) 消印有効



ゆべし

- <材料> 20 個分
- ・上新粉 250g
 - ・砂糖 125g
 - ・醤油 45ml
 - ・水 270ml
 - ・クルミ又はごま 適宜

- <作り方>
- ①鍋に砂糖、醤油、水を入れて煮溶かす。
 - ②①が煮立ったらところに上新粉を少しづつ加え、ヘラでかき混ぜて火を止める。
 - ③ポリ袋に②を入れてよくこねてから 2 時間ほど寝かせる。
 - ④寝かせた生地を 20 等分に丸めて形を整える。その上にクルミやごまを乗せる。
 - ⑤蒸気の上上がった蒸し器にクッキングシートを敷き、15 分位強火で蒸す。



☆ブログ「鈴木淳子の楽しむ食育」もご覧ください♪
<http://ameblo.jp/hanamizuki-junko/>
 レシピ提供：在来作物案内人 鈴木淳子さん

インタビュー ～ともにあゆむ～

酒田市社会福祉協議会 避難者生活支援相談員

高橋 ひろ子さん (八幡町出身) 佐藤 静さん (山形市出身)

高橋 ひろ子さん

酒田市八幡町の出身です。以前は医療関係の事務の仕事に就いていました。着任時は不安を感じていましたが、まずは前任者の記録を読むことから始めました。酒田市の避難者の方は皆さん明るくて、勇気をもらっています。

佐藤 静さん

主人の転勤を機に 2 年前から酒田市の住んでいます。出身が山形市なので、酒田市の情報交換や、新たな酒田市の良さを再発見できたり、避難されてきた皆さんと気持ちを共有しています。



写真左：高橋ひろ子さん/右：佐藤静さん

現在は、避難者宅の訪問をして、酒田市や避難元の情報をお届けしています。また、酒田市地域福祉センターでは、「こんにちわサロン」「手芸の会」「ふくしま就職相談会」を毎月開催しています。避難者の方が相談したい時、おしゃべりをしたい時に気軽に参加でき、安心できる居場所を提供できればと思っています。皆さんご縁があって酒田市に避難されてきた方なので、安心して酒田市で生活できるように、今後もお手伝いをしていきたいと思っています。

- 「こんにちわサロン with 就職相談会」毎月第 3 火曜日 (13:00~15:00)
 - 「手芸の会」毎月第 2、第 4 火曜日 (9:30~11:30)
- 【お問合せ】酒田市社会福祉協議会 酒田市新橋 2 丁目 1-19
 TEL : 0234-23-5765 FAX : 0234-24-6299 E-mail : konnichiwa@sakata-shakyo.or.jp

うるかむダウンロードはこちらから <http://kizuna-yamagata1.jp>

編集部だより

みなさまからの情報をお寄せください！

詳しくは復興ボランティア支援センターやまがたへ



次号は 11 月 21 日 発行です

情報提供や寄稿は
 11 月 7 日まで
 お寄せ下さい。
 お待ちしてまーす。



避難者向けフリーペーパー「うるかむ」

発行元：つなごろう！ささえあおう！
 復興支援プロジェクトやまがた
 〒990-2412 山形県山形市松山三丁目 14 番 69 号
 「復興ボランティア支援センターやまがた」
 TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312
 E-mail kizuna@yamagata1.jp
 WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>

* 貴乃花部屋の解散など相撲界に注目が集まっていますが、郷土力士の活躍からも目が離せません。白鷹町出身の白鷹山関、勝ち越して幕内を目指してほしい！(結)

* 浪江町から避難されているみなさんと「定義如来」に行きました。三角油揚げ また食べたいなあ〜(正)

* 芋煮会シーズンですが、みなさんはもう食べましたか？今年が悪戸芋でたらふく食べたいな!!(礼)

* 健康が一番だなと思いつつも、相変わらずの秋の夜長。我が家では 2 時を過ぎると新聞が届きます。暗いうちから配達してるんですね。ご苦労様〜!(海)

facebook



<http://www.facebook.com/fvsc.yamagata>

つなごろう NET

<http://tsunagarou.net/>



「うるかむ」に掲載された今までの記事と、リアルタイムなおすすめ情報、イベント情報、支援団体情報などを掲載しています。ぜひご覧ください。